

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・B・C・D組

教科名	公民	科目名	政治・経済（2単位）	選択相手科目	生涯スポーツ 論理・表現Ⅰ 保育基礎
使用教科書	最新政治・経済(実教出版)		副教材等	最新政治・経済演習ノート(実教出版) 2025 スタームアップ 政治・経済資料(実教出版)	

1 科目のねらい（目標）

広い視野に立って、民主主義の本質に関する理解を深めさせ、現代における政治、経済、国際関係などについて客観的に理解させるとともに、それらに関する諸課題について主体的に考察させ、公正な判断力を養い、良識ある公民として必要な能力と態度を育てる。

2 科目・授業の内容と進め方

教科書を中心に、用語・事象についての解説をしながら授業を展開します。授業内容に応じて時事的な事象や身近な課題を取り上げて考察します。

定期考査の際にワーク提出を行います。授業で学んだことを個別学習でワークに取り組み、学習内容の定着を図ります。定期考査では、用語などの丸暗記にならないように考慮し、図やグラフなどから考察できるような問題を出題します。長期休暇中にワークの課題とレポートに取り組み、主体的に取り組めたかどうかを評価します。

3 学習の方法

- ・授業を大切にして、授業の中で理解し吸収できるように集中して聞き、メモを取りましょう。
- ・新聞やテレビなどの情報について、宗教・思想・信条など様々な立場や観点から考えましょう。

4 課題・補習について

- ・定期考査ごとにワーク提出があり、1年間でワークを完成させます。
- ・定期考査後、理解度が低い場合は追試などの補習を行います。

5 観点別学習状況の評価のポイント

知識・技能（技術）	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
現代の政治経済、国際関係に関する基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な事柄や、本質、特質及び動向を捉える基本的な概念や理論を理解し、有用な情報を適切に選択して、効果的に活用している。	現代の政治経済、国際関係に関わる事柄から課題を見いだし、その本質や特質、望ましい解決の在り方について広い視野に立って多面的・多角的に考察し、社会の変化や様々な立場、考え方を踏まえ公正に判断して、その過程や結果を様々な方法で適切に表現している。	現代の政治、経済、国際関係に対する関心を高め、意欲的に課題を追及するとともに、国家・社会の一員として平和で民主的な社会生活の実現と推進について客観的に考察しようとしている。

ビジネス情報科・ビジネス科 3年A・B・C・D組

教科名	公民	科目名	政治経済（2単位）
6 年間の学習計画			
月	単 元 名	学 習 の 内 容	評価方法（課題等）
4	第1部現代日本の政治・経済 第1編現代日本の政治 第1章現代国家と民主政治 1 民主政治と法 2 民主政治の基本原則 3 民主政治のしくみと課題 4 世界のおもな政治制度	・個人の尊重、民主主義、法の支配など、公共的な空間における基本的原理を理解する。 ・公共的な空間における基本的原理、思考実験など概念的な枠組み、個人と社会とのかかわりを理解する。	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判)
5	第2章日本国憲法と基本的人権 1 日本国憲法の成立 2 日本国憲法の基本原則 3 自由に生きる権利(1) 4 自由に生きる権利(2) 5 平等に生きる権利 6 社会権と参政権・請求権 7 新しい人権 8 人権の広がりや公共の福祉 9 平和主義と自衛隊 10 日米安全保障体制の変化 11 21世紀の平和主義	・憲法についての現実社会の諸課題に関わる資料から必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる。 ・憲法の下、適正な手続きに則り、法や規範に基づいて各人の意見や利害を公平公正に調整し、権利や自由が保障実現され、社会の秩序が形成維持されていくことを理解する。	
6	第3章 日本の政治制度と政治参加 1 政治機構と国会 2 内閣と行政機能の拡大 3 公正な裁判の保障 4 地方自治と住民福祉 5 政党政治 6 選挙制度 7 世論と政治参加	・合意形成や社会参画を視野に入れながら、政治問題についての主題の解決に向けて、事実を基に協働して考察する。 ・政治参加と公正な世論の形成、地方自治などに関わる現実社会の事柄や課題を基に、より良い社会が形成されることについて理解する。	前期中間考査 ・考査で評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
7 8	第2編現代日本の経済 第1章現代の経済社会 1 経済活動の意義 2 経済社会の変容 3 経済主体と市場の働き 4 企業の役割 5 国民所得 6 経済成長と国民の福祉 7 金融の役割 8 日本銀行の役割 9 財政の役割と租税 10 日本の財政の課題	・雇用と労働問題、財政及び租税の役割、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化、市場経済の機能と限界、金融の働き、公正かつ自由な経済活動を行うことを通して資源の効率的な配分、市場経済システムの機能、国民福祉の向上を理解する。	・行動観察 ・プリントチェック (知・技、思・判) ・レポート提出 (主体的)
9	第2章現代の日本経済と福祉の向上 1 日本経済の成長と課題 2 中小企業と農業 3 消費者問題 4 公害防止と環境保全 5 労働問題と労働者の権利 6 こんにちの労働問題 7 社会保障の役割と課題	・食料問題や消費者問題などに関わる諸資料から、必要な情報を適切かつ効果的に収集し、読み取り、まとめる技能を身に付ける。 ・多様な契約及び消費者の権利と責任、職業選択、雇用と労働問題、少子高齢社会における社会保障の充実、安定化などに関わる現実社会の事柄や課題を、戦後日本経済の発展の歴史と共に理解する。	前期期末考査 ・考査で評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)
10	第3編現代日本における諸課題の探究 日本経済のあゆみとこれから 1 持続可能な地域社会のあり方を考える 2 地域における防災を考える 3 財政健全化を考える 4 起業を考える 5 持続可能な農業を考える 6 ワーク・ライフ・バランスの実現を考える 7 持続可能な福祉社会の実現を考える	・持続可能な地域社会、地域における防災、財政健全化、起業、持続可能な農業、ワーク・ライフ・バランス、持続可能な福祉社会の実現などの観点から個人が課題を見出し、主体的に説明し、論述する。	・行動観察 ・プリントチェック ・ワーク提出 (知・技、思・判)
11	第2部現代の国際政治・経済 第1編現代の国際政治 第1章国際政治の動向と課題 1 国際社会と国際法 2 国際社会の変化 3 国際連合と国際協力 4 こんにちの国際政治 5 人種・民族問題 6 軍拡競争から軍縮へ 7 日本の外交と国際社会での役割	・我が国の安全保障と防衛、主権国家の行動を規律し国家間の秩序をつくりだす国際法の意義と役割や、国際貢献を含む国際社会における我が国の役割について理解する。	・行動観察 後期中間考査 ・考査により評価 ・ワーク提出 ・プリントチェック (知・技、思・判) ・レポート提出(主体的)
12	第2編現代の国際政治 第1章国際経済理論 1 貿易と国際収支 2 外国為替市場のしくみ 第2章国際経済の動向と課題 1 第二次世界大戦後の国際経済 2 国際経済の動向 3 新興国の台頭 4 経済のグローバル化と ICT でかわる世界経済 5 発展途上国の課題と展望 6 地球環境問題、資源エネルギー問題 7 経済協力と日本の役割	・経済のグローバル化と相互依存関係の深まりなどに関わる現実社会の事柄や課題を基に、世界経済がより緊密に結びつき、経済活動が世界的な規模で自由に行われていること、一国の経済政策や経済活動が他国にも影響を与えることなどを理解する。	
1 2	第3編国際社会における諸課題の探究 SDGsの実現に向けて 1 難民問題を考える 2 外国人労働者との共生を考える 3 自動運転技術を考える 4 地球環境問題、資源エネルギー問題を考える 5 国際経済格差の是正と国際協力を考える 6 持続可能な平和のあり方を考える	・難民問題、外国人労働者の権利、自動運転技術、地球環境エネルギー問題、国際経済格差、持続可能な平和などの観点から個人が課題を見出し、主体的に説明し、論述する。	学年末末考査 ・考査により評価 ・ワーク提出 (知・技、思・判)